

総合的な探究の時間「探究」に関する講演会実施要項

1 目 的

- (1) 生徒は「探究」の概要に関する講演を聞くことを通じて、「探究」への理解を深める。
- (2) 生徒は「探究」に関する取組の具体を聞くことを通じて、「探究の過程」のイメージを持つ。
- (3) 教員は「探究」の概要や取組の具体例に関する講演を聞くことを通じて、生徒の活動に対する指導に生かす。

2 日 時

7月20日（水）5校時（13:20～14:10）

※6校時、各ホームルームに戻って、講演会の振り返りを行うとともに、今後の活動について確認する。

3 場 所

体育館

4 対 象

1学年（320名）

5 講 師

北海道教育大学札幌校准教授 渡辺 理文（わたなべ まさふみ）氏

6 内 容

- (1) 探究とは
- (2) 課題の設定や問いの立て方
- (3) インターネットに頼らない、実験やフィールドワーク等による情報収集の実際
- (4) 収集したデータ等の効率的な整理・分析の方法
- (5) 効果的な発表になるための工夫の仕方

7 担 当

各MIXクラス担任、授業の入っていない副担任、学年主任

8 会 場 図 ※各クラス2列で椅子に座る。

ス テ ー ジ	
1 組	8 組

9 役割分担

整列指導	
機材設置	
司 会	

10 そ の 他

- ・5校時開始時から講演会を始められるよう、生徒は昼休み中に体育館に椅子をもって移動する。
- ・ホームルームでの振り返りにおいて特に顕著な取組をした生徒については、その評価を記録として残す。
- ・本講演会を、道教委事業「S-TEAM教育推進事業『STEAM』推進プロジェクト外部連携支援事業（学校活用型）」を兼ねて実施し、講師の謝金を支出する。